

栄八通信

ハートコミュニケーション

第 19 号

14710 月末発行



武雄市議会議員
宮本 栄八
TEL・FAX 23-0750
携帯 090-5083-0793

H16年度予算増を知る

合併が成立すれば、今年度が武雄市最終年度の予算となる。H17年3月1日合併で、残り1ヶ月分は不用額になるのか、2月までに使い切ってしまうのか等は、今後話し合って決めるらしい。

とにかく、各自自治体が予算規模縮小の中、借金の借り替えの4億円をのぞくと、実質4億円増の121億円になって一見景気が良い。ただ、その約4億円の財源は、基金のとりくずしで補填した。

前年度より増額したのは上西山の清水原団地横の下山住宅を今年度半分の15戸を建設する。緊急地域雇用創出は、半年間、行政の業務に関する事業に雇用を作るもので、今回、山林の手入れや教育関係のサポーター的な仕事を中心だが、前年度より大幅な増額である。児童手当については、現在就学前の1・2子等に、年間6万円補助がされているが、これが小学3年まで拡大される予定で、また、朝日小学校の改築は、2つの工事からなっていて、給食室や図書室などの特別教室の新築と、また校舎の外装や教室内の改築であるが、今年度の教室の改築で、総額9億1千万円の事業が終了する。鉄道高架事業の負担金も、駅舎部分の工事などもあり増加。※駅南広場整備のため、JR用地を15年度末補正で購入した。

H15年度 117億円
H16年度 125億円に
実質 (121)億円
増額 4億円は基金取くずし
財政調整基金 1.5億円 残5億円
公共施設整備基金 2.7億円 残7億円
基金残計 12億円

<p>下山住宅</p>  <p>2億6,000万円 増 2億4,000万円</p>	<p>朝日小学校改築 14年度分</p>  <p>5億0,568万円 増 2億8,000万円</p>	<p>緊急地域雇用創出</p>  <p>1億7,916万円 増 1億3,700万円</p>
<p>戸籍電算化システム</p>  <p>6,500万円 増 6,500万円</p>	<p>児童手当 (小1~小3拡大)</p>  <p>2億0,200万円 増 6,300万円</p>	<p>鉄道高架 (県の負担金)</p>  <p>1億6,000万円 増 5,000万円</p>

私の合併シミュレーションの見方

特例債160億円を300億円に

● リストラなければ5年

上のH16年度予算の状況から推察すれば、基金残が、12億円から4億円づつ取りくずしていくと、3年間しかもたない。

ただ、予算では4億円の基金を取りくずす、形を取るが、実際は、支出不能を防ぐため、市税は少なく、繰入れ金は多く予定するので最終的に、決算は、市税増や繰入れ不用の形で残額を出すので、実際は、2億円程度の取りくずしと思われる。

② 行政サービスの広域化で負担減
③ 地方分権や地域自治の強化
一般市民の方は、特に特例債の活用には期待している。市は、最初、特例債を使う事業を決めてから財政計画を出すと言っていたが、最近、特例債の使い方は、合併後に決めると、発言が180度変わった。それについては、私もあわてて決めて無駄な事業がされても困るので、歓迎している。

① 議員の削減(在任一年) 17億円
② 職員人件費(新採1/2の時) 45億円
③ 行政経費(10%削減) 26億円
④ 市長等四役削減 14億円

たと言え、公共下水道の事業費が100億円とすれば、約25%が市の負担で25億円、その25億円内に合併特例債を入れるとその30%が市負担となり、約8億円程度で済むことになり、他の借入れは返しても、特例債を利用したが良いと思う。

また、この特例債は、通常の起債とは異なって、国庫補助事業(道路や下水道など)の市費負担分(補助裏)にも当てることができ。また、この特例債は、通常の起債とは異なって、国庫補助事業(道路や下水道など)の市費負担分(補助裏)にも当てることができ。また、この特例債は、通常の起債とは異なって、国庫補助事業(道路や下水道など)の市費負担分(補助裏)にも当てることができ。

● 特例債は借金にあらず 300億円の計画を

しかし、今回の市町村合併に、私が期待するのは、次の3点です。
① 320億円の特例債が利用可能

要は、今回の合併は目的でなく、行政経費削減の手段であり、合併しなければ同じ支出を減らさなければならぬ。

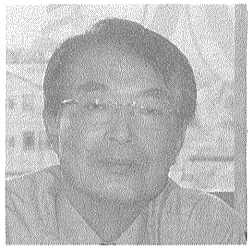
① 議員の削減(在任一年) 17億円
② 職員人件費(新採1/2の時) 45億円
③ 行政経費(10%削減) 26億円
④ 市長等四役削減 14億円

小城市は、4町で合併して人口四万人程度になるが、特例債の利金は、200億円を計画しており、湯陶里市7万6千人で160億円なのは、おかしくないのか? どうせ、15年後には交付税が大幅に削減されるのは確実だから。ただ、事業費の5%は事業年度に、市が金を用意しなければならぬ。それについては、県民債のような、市民債を発行して、市民の協力を受けたり、新市の不用市有地の売却で用意できると思う。

平成16年度 部長の事業目標 (部長マニフェスト) を知る

部 課 目 標 ・ 方 針 ・ 重 点 施 策

総務部



岩谷正憲部長
(武雄町川良)

総務



松尾茂樹課長

・「新・武雄市行革大綱」のH16年分の実施の徹底。最終年度の総括と結果の公表

企画



前田敏美課長

・佐賀県西部1市3町合併の推進 (H17年3月1日新市発足目標) 地区住民説明会の開催
・武雄東部地区のAゾーン民間企業立地の推進支援。
・工業適地への企業等の誘致活動とそれによる雇用創出を強力に推進する。
・温泉活用モデル事業「美・フレッシュプロジェクト」をH15年度に引き続き展開する。
・男女共同参画の推進の強化。審議会等の女性委員数の拡大の為に「委員任用規定」の実施

財政



森 基治課長

・「武雄市財政健全化計画」(H14~18年度)の中間見直し
・武雄市土地開発公社を財政課内に集約し経費の削減をし、余剰土地の積極的な販売をする

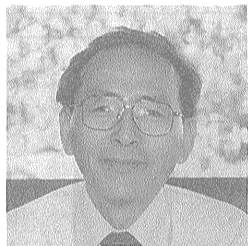
税務



久原義博課長

・公平・公正な課税のため、実態調査に力を入れる。また、未申告者への申告指導の強化
・収納率の向上のため戸別訪問徴収の強化。法的処理など滞納整理の早期着手

民生部



古賀堯示部長
(武雄町下西山)

市民



中原正敏課長

・戸籍事務を電算化し、受付から交付までの事務処理時間の短縮を図る。平成17年1月から稼働の予定。

福祉



國井雅裕課長

・東川登保育所、西川登保育所の統合し、平成17年4月1日を目途に民間に移管する。
・養護老人ホーム杵島向陽園(朝日町)を平成16年10月1日を目途に民間に移管する。
・子育て支援のため、H21年度を目標とした「次世代育成支援行動計画」を策定する。

健康増進



橋口シゲ子課長

・「いきいき市町村を育む保健推進事業」の展開として、理学療法士による高齢者健康講座の開催。
・「武雄市たっしやかプラン21」に基づき、乳幼児期を中心とした相談、健康教育活動を強化する。

生活環境



緒方正義課長

・市街地のごみの収集方法を「路上収集」から「集積所収集」への変更に伴う市民への協力要請と集積所設置補助の推進
・「武雄市自動車の放置防止に関する条例(平成16年4月1日施行)」の市民への周知と条例適用による放置防止の強化
・市民生活において詐欺犯罪や交通事故などの防止、減少を図るため、関係機関、団体等との連携強化

経済部



大庭健三部長
(武雄町川良)

農林



山下真琴課長

・国の「米政策大綱」によりH16年度から米の生産調整が面積から数量に変わることにもとまない武雄市農業の将来像をしめす「武雄地域水田農業ビジョン」を策定する
・「森林整備地域活動交付金事業」を活用。山林の現況調査や境界確認や作業道の草刈等を実施する。

商工観光



田中 進課長

・観光宣伝の充実をめざし特に福岡を重点地域として宣伝活動を展開する。
・全国うめサミットのH17年2月武雄市開催にむけての宣伝活動と受け入れ体制の整備
・地元の農産物を使ったお菓子や加工品に付加価値をつける「武雄ブランド」づくりの推進

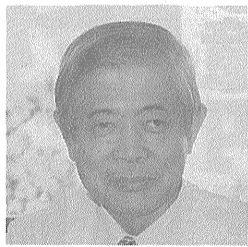
競輪



馬渡秀夫課長

・競輪事業健全化計画に基づき売上向上策や経費削減策を強力に推進する。
・新規場外車券場である「サテライトみぞべ」(鹿児島県)を開設し売上向上をはかる。
・ふるさとダービーたけおのH17年4月の実施にともない車券の全国場外発売等の営業や開催準備。

建設部



東島清司部長
(武雄町天神)

建設



津野武彦課長

・道路・河川の整備補修は危険箇所を優先。栗原住宅前の市道については用地買収等を積極的に推進
・市営下山住宅の建て替えに着工。入居者や地域住民の方との融和を図り快適な住環境づくりを推進
・受託工事の朝日小の改築において児童が描く木質タイルを壁面に設置する「スター・ピース」実施

都市計画



井手和徳課長

・南口駅広場の整地事業に着手し、また川端地区近隣の高架側道の整備を実施します。
・川端の高架下・新松原どおり・市役所前-温泉街道の整備プランを市民・住民と共に考えます。
・武雄市東部地区整備にて沿道型商業の立地を促すため小楠-水谷線の測量や設計まで実施します。

下水道



松尾 定課長

・公共下水道は、終末処理場の用地買収および処理場の設計等、平成19年度の一部使用開始へ始動
・農業集落排水事業は、川内地区の基本計画および配管設置のための地形路線測量を進めます。
・今年度より排水処理が下水道課に一元化され公共下水道・農排・浄化槽の最適整備を研究します。

武雄市の行政サービス 部長したい!

もちろん、市長が、だれを部長に任命するかで決まるわけだが、その部長が課長等に明確な、指示を出すことが、特に重要だ。この部長は、9級とあって、職員で最高の給料をもらっています。ちなみに、市条例の表には、33万円から48万円まで載っているが、年齢や昇進のスピードによって変わってきます。部長の職務は、条例によると、大きく分けて、2つの仕事があり、市長の補佐や代理をしたり重要事項の決定に参加します。もう一つは、今回お知らせするマスタープランに基づいて、各部の業務の目標及び実務方針等を立案設定すること。また部長は、課長に対して、実施計画をつくらせるなど、まず、部長が動かないと始まらない、しくみになっていきます。そこで、部長の目標や方針・重点施策等をたずね、少し市民の方が解りやすいように、補足を加え、また箇条書きで紹介してみました。

新採紹介

また、新聞の人事異動欄も名前の列で市民には何だか解らないとの声に答えて、課長や新採も職員さんをお願いして写真を載せていますので参考にしてください。※今回紙面の都合により教育委員会と公営企業は次回です。



原 幸司
(大町町)



岸川 杏子
(川良)



松尾 千春
(川良)



蒲地 浩孝
(上西山)

私の質問と市の答弁

1 市町村合併

● 市民に判断しやすい財政計画を

新市の建設計画を、1300万円もかけコンサルタントに発注した大きな理由は、その中の財政シミュレーション作りには、専門家の力を必要とするとの見解だった。しかし、今回提出された、新市の10年先の財政計画(案)は、市が通常作っている中期財政計画と大差なく、一般市民には解りにくい。もう一度コンサルに、作業させて、市民や議員が、合併の賛否を判断しやすい計画の作成を望む。

● 自治区による周辺部対策を

合併に対する心配する点として、周辺部がさびれると言うのが最大の意見だった。その対策として、旧市町ごとに、地域審議会をもうけ、新市建設計画にのせた地域のプランの実施を監視するもので、以前市長も前向きで、合併協議会でも設置が決った。

しかし、今回の新市建設計画は具体的実施策が明示してなく、それを監視すると言っても意味がない。そこで、今度、国が法案の提出を予定している旧市町が、一定の予算や決定権をもつ、合併自治

区について、市長は、個人的にはどう思っているのか。

【回答主旨】

私、個人的には、自治区については、良い制度と認識している。

● 私立幼稚園児への補助

合併協議会において、保育園の保育料については、保護者の負担が軽減されるように、継続審議までして話し合われた。

一方、同じ子育ての柱である幼稚園児の保護者の負担の軽減をはかる、就園奨励金については、協議会で論議はなかった。以前より、武雄市が他市町より補助が少ない状況で関心をもっていった。合併する山内・塩田・嬉野町は、国の基準どうりの補助をしているが、武雄市も増すべきではないか。

【教育部長回答】

協議会で、話合っていないが、補助金、交付金の取り扱いの中で同種の補助金は、基準を統一する方向で調整すると確認されている。

2 行政改革

● 保育所民営化の加速を

H8年に取り組んだ、市立保育

所民営化が、やっとH16年度に具体化した。

当時、鹿島市のように、公立を一園残してあとは民営化する計画と理解していたが、今回再選して、「公立保育所の役割及び管理運営に関する実施計画」がH13年に作成されていたのを知った。それには、武雄保育所や朝日保育所は市立で残り、若木保育所も、平成23年度の民営化を目標としていることが判った。

今年度より、国県の公立保育所運営費負担金の廃止で、1億2千万円が入ってこない。嬉野も公立は1カ所にしていく。武雄市も公立1カ所にし、若木保育所も、前

【回答主旨】

貴重な提言として受けた。市の外部団体の行革計画を

● 市の外部団体の行革計画を

市民にとっては、市が行革することも必要だが、市に関係する、西部広域水道事業や杵藤地区広域圏組合、土地開発公社の業務見直しによるリストラは必要である。市は、直接的な命令権はないと思うが、各外部団体等に行革計画を策定するように求めてほしい。

【回答主旨】

外部団体に、計画策定を申し入れる。

3 教育行政について

● オープン教室の改修の時期

御船が丘小のオープン教室に、騒音防止の開閉戸の設置の要望を以前したが、教育長は、取り組むとの答弁だったと思う。しかし、16年新年度予算には上っていない、ではいつを予定しているか。

【教育部長回答】

予算の項目は、上っていないが今年度の修善費などにより対応し現在、戸の設置方法を協議しているとのこと。

● 2学期制の学校独自判断の限界

私は、2学期制を頭から否定してはいない。ただ多くの保護者は、制度を十分に話し合うことなく、一方的な説明で急激に変えることへの反発がある。

● 全国的にも、急変でいらぬ混乱

をさけるために、多くの学校で試行という形で慎重に進められている。一方、武雄市は、各校長の判断とは建前で、実体は、教育委員会の押しつけで、学校の個性化に逆行している。佐賀市も2学期制の規則は武雄市より早く変えているが、まだ、2学期制の実施は1校もないことからわかる。試行できなかったか?

【教育長回答主旨】

各学校の教務主任を中心とした2学期検討委員会で、話し合われた結果であり、教育委員会の押しつけではない。

● 2学期制の区切り問題

秋休みについて、前回も体育の日前後の3日間では、武雄町民運動会などあり、子供の気分や次期の目標設定などゆとりがない。夏休みを2〜3日短かくして、一週間程度の秋休みにすべきと提案していたが、なぜしないのか?

【教育長回答】

私も、個人的には、秋休みを長くした方が良いと考えているが、2学期検討委員会は、気候の良い時期には休まず、勉強した方が良いとの判断をしたとの答え。

● 高校再編問題への対応

一貫校の致遠館は、半数は佐賀市外からと言う。そうなれば地元

の生徒に教育的な不利益が生じる。以前武雄地区の生徒数は減少しているでクラス減は不合理と言っている。

【教育部長回答】

新武雄高校の開校予定のH19とH17年の西部学区の生徒数と比較すると、減っていない。だからクラスを減らさないように、県教委に言うべき。

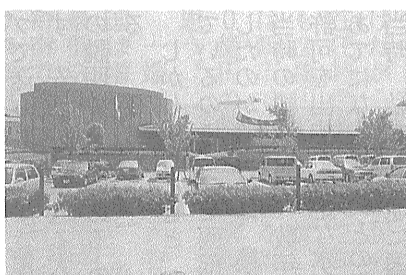
【教育部長回答】

武雄市内の生徒の不利益にならないように、県に言うて行く。

4 図書館の開館時間延長

市は、開館時間の延長については、アンケートを取り延長の要望は少なかつたとの判断だった。しかし、他議員から、アンケートのやり方が問題があるとの指摘があった。

市は、アンケートを取りなおすのか?また、職員の勤務のローテーションが、利用者が多く現在でも処理でいっぱいと言う。伊万里図書館のように貸出者の範囲を限定すべき。武雄市図書館は市外の人



市外の人へのサービスが良い武雄の図書館
H15年度唐津市の図書館では、金曜日の1時間延長を試行した。

にサービスをして、市内の利用者のサービスを金曜日の7時までの1時間の延長もできないのは主客転倒ではないのか?

(利用者の約4割は市外らしい)

【教育部長回答主旨】

アンケートとは再度取る気はない。一時間延長というが人件費だけの問題ではない。

三情報コーナー

☆武雄温泉ハイツのその後

市が、雇用・能力開発機構より購入をH15年12月25日に実行。

武雄市はH16年1月より、古庄市長が、理事長を兼ねる(佐賀県勤労者福祉事業団と賃貸契約した。テナント料は、年額、2450万円、月額約204万円(税込)。

月賃料の根拠は、固定資産税額相当額として約100万円と、建物物が古くなって市がリフォームする時の事を考えて、減価償却費相当分の、約100万円の内分け。ただ一年間だけは、経営安定の為、半額の1176万円の賃料。

一方、市三役や部長が、理事を勤める財団が、経営を続けることは、もし何らかの事故等があった損害賠償が出た時、市の道義的責任が問われないかが心配である。

市の方針は、民間を探すが、当面は、財団で経営すると言う。そのねらいは、現在の従業員の雇用を守る事にもあり、一概に否定できないが、現在の従業員の方で、会社を作ってもらうか、または、現在の従業員の雇用を条件として民間移替するなど、責任の所在を明確にすべきではと思う。

現在、契約も、古庄市長と、古庄理事長では、法的に契約できず副理事長の古川助役との契約になっている。このことから正常な状況ではないと言えるとと思う。

3月議会

各公立保育所の今後のあり方

保育所名	今後のあり方	時期
武雄保育所	移転新築 市内保育所のセンター 障害児保育	H(21・22)
朝日保育所	統合 移転新築	H(19~22)
朝日第2保育所	障害児保育	
若木保育所	民営化	H(23・24)
東川登保育所	統合 民営化	H(15~20)
西川登保育所	中間地建替	

武雄市の水道事業

佐賀西部広域水道事業団に

多久市が加入し、どう変わる

市4、800万円減↓市民は？

◆多久市給水のいきさつ

水あまりで、多くの負担をかかえこんで、水道料金の高い武雄市の水道企業会計。

以前、私が議員だった6、7年前、広域水道の受水にそなえ値上げが提案され議論がもり上がった。

当時、ちょうど干ばつで、多久市の水不足が表面化していた。そこで、私たちは、武雄市から多久市に水を販売したらと提案していた。しかし、武雄市は必要な水予測で施設建設の許可を国から受けているので、できないと言う。

そこで、西部広域水道企業団に加入させて、武雄市の剰余分を引き取ってもらうことを提案していた。しかし、当時の市は、もともと多久市も参加して西部広域水を作る計画だったので、離脱し、武雄市も苦労した、多久市が水不足で加入したいとしても都合良くないとして、消極的な反応だった。

私も、いきさつは分るが、武雄市水道は、メンツにこだわっている場合でなく、市民負担を軽減するめったにないチャンス逃さないよう要求していた。その後、選挙に落選して状況が、良く解らなかったが、その間この案は動いて

引受水量(日)
7,167 t
↓
6,193 t

受水単価
93円
↓
88円

7,167 t × 93円 × 360日 =
① 2億4,521万円

6,193 t × 88円 × 360日 =
② 1億9,891万円

①-② 4,865円(税入)

◆多久市加入による変化

結局は、西部広域水の全体の1日の給水量4万8千4百tの内、多久市が6千tを受水した。武雄市以外の江北・大町・白石・有明・塩田も、水あまりで、譲渡希望の水量の合計が、1万1千2百tだったので、多久市が、その剰余水の約50%を利用してくれた。

武雄市については、日量7167tから、6193tに受水量が約1000t軽減された。また、多久市に、ペナルティで現在、1t当り、約93円で給水している西部広域水の供給単価を、多久市には、122円にし、他市町には88円に5円値下げした。

以上のように、武雄市としては受水量の減と単価の減で、税込みの、4千8百万円が、H16年度より浮くことになる。一世帯当り、年間4千円程度である。

しかし、この約5千万円は、市民に還元するかどうかは、市は、方針を示していない。

私の水道事業への提案

西部広域水を優先し、積立金14億円で料金値下げ

私は、市民の水道高料金をいくらでも、低下させる為に多久市の広域加入を求めて来たわけで、料金の低減になれば、何の為にしたかと言うことになる。多久市の分は何も経費がいらす、丸々浮くので、その分は市民に還元できる金だと思う。

ただ、その多久市分の浮いた金も、経理上は他の利益と合算される。通常は利益積立金にためられる。そうならば、この利益積立金の使い方を明確にしなければならぬ。

●以前の積立金の考え方

現在、14億円ある利益積立金も、以前議員だったころは、西部広域の受水費が、増大した時に料金値上げしないようにプールしているもので、最終的には、料金値下げしたのと同じ説明があり、それなら良いと思っていた。

また、国から水道高料金対策の交付金が、年間約3億円〜1億円程度あり、その制度ももう数年後には無くなる可能性がある。積立基金は持っていたが良いとの説明だった。

また、当時、私は、高料金の交付金をもらうため、水道料を高いままにしておいて、利益積立金に貯めておき、高料金の交付金の制度が廃止されてから、積立金をくずして値下げすれば良いと考えていた。

●現在の積立金の考え方

しかし、再選して、良く調べて見ると、高料金の交付金は、水道料金が高いか安いかでなくて、水道事業に、初期投資などの資本費がどれだけかかっているかで決まるのだと判り、それなら早く水道料金を下げさせるべきと反省した。

武雄市水道の状況

(浄水済) 西部広域水道 6,810 t / 日	若木浄水場	淵ノ尾浄水場		
	本部ダム 5,740 t	矢筈ダム 3,350 t (アオコ発生中)	淵ノ尾 1,440 t	島海川 (不安定水利権) 4,240 t
必要水量	12,000 t	不用水量 9,000 t		

(浄水場) (水源)

プで送らず送水でき電気代もいらず、安価に手に入る大切な水源との説明で、一理あるようにも思える。

しかし、もともと、水量は足りているのに、なぜ西部広域水に参加したのか？それは、島海川の水は、当時の建設省が、数年間づつ利用許可を出す不安定な水利権だから、あてにならない、との説明だった。当時、私たちが逆に国も使用許可は、ずっと出るとのではとの、見直し発言に、いや国は、西部広域などの安定水利権が確保できたら早く許可を返せと厳しく言っているとの説明だった。

このようなことから、もともと両方を保持する計画ではなかったはずだ。最近、九電が、唐津市の火力発電所の休止を発表した。同じ公共料金の水道も、他との競争がないからと、時代遅れの経営をして良いわけがない。

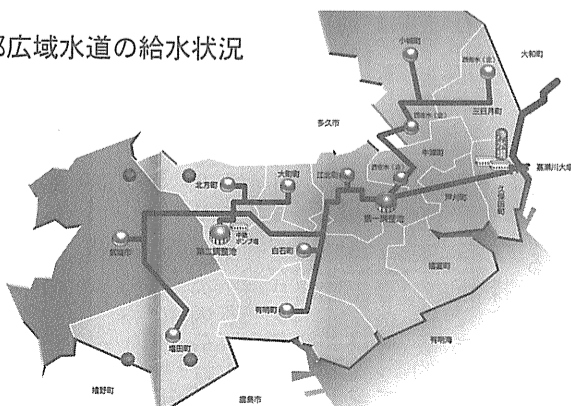
安定供給の名のもとに、だれも責任を取らない、必要性を無視した過剰投資は、ゆるされない。

また合併の住民アンケートでは、一番の課題が上水道問題であった。しかし、新市の建設設計画案には水の安定供給や施設の整備更新等のみが、記載されていて、合併による効率化や価格低減への取り組みの記載がなく、心配である。

淵ノ尾浄水場当面の整備必要なし

私は、西部広域の水は、浄水済みで、くさらないうちに使わなければならず、また、責任水量制になっていて、利用しなくても支払が発生する。西部広域の水を最優先に使えば、約7千tあり、あと若木の第2浄水場の6千tで武雄市の一日最大給水量1万2千tはまかなえるので、淵ノ尾浄水場については、当面必要ないし、少し利用量が増えても、合併の町の余剰水や、西部広域が、「佐賀道水

西部広域水道の給水状況



事業」といってH24年に筑後川からも水を取る約束になっていて、それも武雄市分の1千t来るので心配はない。以上の事から積立金14億円市民へ還元をし水道料金を下げてもらいたい。

制作後記と今後のプラン

再び議員として働かせていただき、丸一年になりました。気持ち新たに、名誉職をもって提案・監視して行こうと思います。

今までは、桜はパッと咲いて、散ると思っていました。今年、花と若葉が同時にあります。自然も状況しだい、市政もやり方しだい、低負担と高サービスが両立できると信じて行動します。